

30108砂防工事における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	11~12	斜面の沢で、モノレールの撤去作業中、レールに沿って歩いていたが、斜面上の雪で滑って、モノレールの荷台とレールの間に足を挟まれ骨折した。	40	2	719	10 ~ 29
2	2017	11	8~9	置き場において、BH0.4の始業点検時にドアの開閉をしている際、開閉の弾みにより左手指を挟んだ。	62	7	141	1~ 9
3	2017	11	10~11	工事で斜面をはぎ取る前の雑木の切り取りの作業中、チェーンソーで左足の太股とふくらはぎを切った。	64	8	136	1~ 9
4	2017	11	15~16	資材置場で足場材の整理作業中、足場材にワイヤーロープを掛け、移動する為、作業の相手方がユンボで吊り上げた際に左手指を足場材とワイヤーロープの間に挟まれた状態で吊り上げられ負傷した。	50	1	221	1~ 9
5	2017	10	11~12	昇降施設を設置していた被災者が梯子のステップで足を滑らせてH=1.0m付近から転落した。設置途中であった暫定の手摺に掴まろうとしたが空振りし、落下した着地点が岩盤であったため、手をついた衝撃で左右手首を骨折した。	53	1	371	1~ 9
6	2017	10	8~9	砂防堰堤現場で、コンクリート打設前に型枠内の清掃中、レイダンス除去用の2インチ水中ポンプを設置する釜場に足をとられて転倒し、型枠上部の縁に喉をぶつけた。外傷痛み等はなく、その日と翌日の午前中作業を行っていたが、声が出なくなのまま治らなかった。	65	2	417	10 ~ 29

7	2017	9	9～ 10	通勤車両から現場へ歩行移動中に斜面にて足下が滑り、転倒を避ける為に約1m下にジャンプした。その際、腰痛を強く感じた。	62	19	417	1～ 9
8	2017	8	15～ 16	幅員6～8mの市道において、現場内は平坦だが始点部分より急な勾配がある場所で、舗装打換え作業の際、表層土を施工するために、アスファルトフィニッシャーへ4tダンプがアスファルト合材を荷卸し、数メートル前方に移動し、現場終点部分に停車した。その直後、ダンプの運転手と職長が口論となり、職長がダンプの運転手の腕を引っ張ったとき、運転手がバランスを崩して車外に落ちたため、ブレーキから足が離れ、またサイドブレーキもかかっていなかったために、勾配をダンプが動いてしまい、慌てて職長が止めようダンプに飛び乗ろうとしたが、20m程先にあったバックホーに挟まれた。	59	6	221	10 ～ 29
9	2017	8	9～ 10	川右岸側の比較的平坦な場所で盛土仕上作業をしているとき0.45?級バックホウを運転していたところ一旦作業が止まったのでエンジンを切り運転席からキャタピラ上に降り、そこから地面へ右足踵から降りたところに地面から突き出ていた石があり右足踵を骨折した。	61	3	711	1～ 9
10	2017	8	10～ 11	当該工事現場に於いて、被災者が法面より高さ8m程の位置で、樹高19m樹径40cm程度の木をチェーンソーで切り倒したところ、後方の木とつるがからまっていた事により、後方の木と同時に引き倒され、後方の木に頸部及び胸部に直撃を受け被災した。	68	6	712	1～ 9
11	2017	6	14～ 15	法面整備工事の型枠組立作業中、寸法を測るため手袋を脱いで作業していたところ、型枠材に利用するセパレータ（金属製の型枠を固定するもの）の切り端先端部が左手甲に当たり、切れて怪我をしてしまった。	61	3	419	1～ 9
			13～	現場で道路際の木を切ろうとしたとき、路肩が崩れてバランス				1～

12	2017	5	14	が悪くなり、転んで転落し負傷した。	52	5	711	9
13	2017	5	11~ 12	コンクリート擁壁にマーキング（出来形写真用）を書く目的で現場に立ち入ろうと、函渠を通り抜けて下に降りようとした時に誤って滑り落ちて、土留め様に設置してあったコンパネに脊髄を強打した。	64	1	417	10 ~ 29
14	2017	4	11~ 12	工事現場にて4tユニック車で重機を回送してその機械を降ろそうとした時、油圧のホースが一部破損しているのに気づき、その時に右手の人差し指にあたり油が手の中に入り負傷した。	35	6	212	10 ~ 29
15	2017	3	8~9	高さ1.5m程度の斜面上に生えている立木（直径約17cm）を株の横に立って伐採していた。口が開いてきたので斜面下方に退避したが、退避した方向に木が倒れてきたため接触し転倒した。	25	6	712	30 ~ 49
16	2017	2	13~14	仮設道脇の支障木を伐採する作業中に、木の目標伐倒方向が想定外な方向に倒れたことにより、作業員が逃げ切れず木と地面の間に左腕と左手が挟まれて負傷した。	61	6	712	—
17	2017	1	9~ 10	地すべり対策水路工事現場で、伐採作業の写真撮影を行うため移動しているときに、凍結し滑りやすい仮設配管VP200の上を歩行した際に足元が滑り転倒し、右手をつき骨折した。	42	2	419	—
18	2017	1	12~ 13	工事現場内にて、敷鉄板を0.7tバックホウ（クレーン仕様）で荷卸し中に、吊り金具が外れて作業員の左足脛に倒れた。	33	5	372	—
19	2017	1	16~ 17	現場の提体水通し部で出来形測量中にバランスを崩し、高さ3.5m~4.0mの溪床部に落下した際に、首を強打した。	42	1	418	1~ 9
20	2016	12	15~ 16	倉庫内で2tトラックの荷降台で材料の積み下ろしをしていた。トラックのあおりに足をかけ、体重をのせたところで滑ってバランスを崩し、1.5m下に落下した。	55	1	221	1~ 9
21	2016	12	15~ 16	被災者は足場上で伐採物の仕分け作業を行っていた際に、足元の竹の上に乗る、足が滑って転倒し、近くの支柱に頭部をぶつけて負傷した。	51	2	419	50 ~ 99

22	2016	11	10～ 11	地震で被災した二階建ての家屋にて、解体工事に伴う二階部分の清掃作業をしていたところ、床の湿気でもろくなった部分を踏み抜いてしまい、落下した。	27	1	415	10 ～ 29
23	2016	11	9～ 10	トイレに行くために、現場出入口以外の所から出て飛んで降りようとして、頭上が高かったために頭を打って下にずり落ちた。	69	3	418	1～ 9
24	2016	9	13～ 14	本堤型枠組設置場所で型枠をつっかえ棒等により、仮設した後、型枠の通りをチェーン及びターンバックルで修正中、つっかえ棒がはずれ、型枠が被災者側に倒れ、型枠背面に製品として取り付けであった固定ボルトが右足大腿部に突き刺さった。	52	5	379	1～ 9
25	2016	8	9～ 10	地滑り対策工事で型枠脱型時にベビーサンダーを使用して、はがれ残りを取っていた。その際、ベビーサンダーがはじかれて、誤って左足太もも内側を切り、出血した。	42	8	153	10 ～ 29
26	2016	8	16～ 17	倉庫にて、置いてある発電機の試運転を行おうとして、前のめりの姿勢で右手を使ってスターターロープを思い切り引っ張ったところ右肩に激痛が走り、負傷した。	57	19	391	10 ～ 29
27	2016	6	17～ 18	作業現場より、連絡車両で帰社する時、国道の平坦で緩いカーブを走行中、ハンドル操作を誤り、対向車線にはみ出し対向車と衝突した。	69	17	231	10 ～ 29
28	2016	6	17～ 18	作業現場より、連絡車両で帰社する時、国道の平坦で緩いカーブを走行中、ハンドル操作を誤り、対向車線にはみ出し対向車と衝突した。	47	17	231	1～ 9
29	2016	6	17～ 18	作業現場より、連絡車両で帰社する時、国道の平坦で緩いカーブを走行中、ハンドル操作を誤り、対向車線にはみ出し、対向車と衝突した。	48	17	231	1～ 9
30	2016	4	9～	縦排水がある勾配2割5分の法面上で現場の監督をしている時、縦排水を横切ろうとした際、張コンクリート上に落ちていた小	53	2	417	10 ～

			10	枝や葉を踏んで、右足が滑り、つられて左足が側溝内に落ち、左ひざ外部を負傷した。				29
31	2016	3	9～ 10	法面改良工事現場において、側溝内へ土砂が流入するのを防ぐために敷いていた鋼板を移動する作業を行っていた。その際、手元作業員（負傷者）の合図を勘違いした重機オペレーターが手元作業員の意図に反して鋼板を下してしまったため、手元作業員の右足が地面と鋼板との間に挟まり負傷した。	66	4	141	1～ 9
32	2016	3	16～ 17	工事現場でコンクリート打設中、圧送管が詰まり生コンの排出が止まったので、被災者が下向き加減でうっかりフレキシブル管の近くへバイブレータを投入したところ、圧送管から生コンが排出し、同時にフレキシブルホースが暴れ作業員の手から離れ、被災者の顔面に当たり被災した。	48	6	149	1～ 9
33	2016	3	14～ 15	現場内の工事用道路を歩行中につまずき、転倒した際に右足の膝を強打した。	30	2	417	100 ～ 299
34	2016	2	13～ 14	工事現場において、約2kgの単管取付金具を脇にかかえハシゴを登る途中、高さ2mの位置より足を滑らせて転落し負傷した。	65	1	371	1～ 9
35	2016	2	11～ 12	道路と田んぼに30cm幅の木製のあゆみをかけた上を2回目渡って戻る時、くつの裏に雪がついていて、あゆみの上で足をすべらせておしりから落ちた時にあゆみで腕と肩を打った。	68	2	416	10 ～ 29
36	2016	2	16～ 17	作業員2名にて林道の道路補修工事を完了し、バックホウの残土排土板にて補修箇所奥に残土を排土していたところ、林道が崩落し転落。	46	5	141	1～ 9
37	2016	1	7～8	工事現場に向かおうと、2トンダンプを運転中、右カーブに差し掛かったとき、対向車に驚きハンドル操作を誤り、沿道の車庫に突っ込んだ衝撃で、左脛と右小指中手骨を骨折した。	21	17	221	1～ 9
				鋼製残存型枠を上部施工箇所に荷卸し後、昇降階段を下る途中				10

38	2015	11	10～ 11	に階段を踏み外し仰向けの状態で転倒し、階段中間手すりと階段の隙間から間詰コンクリート2段目へ転落、その勢いで1段目まで転落し被災した。	58	1	413	～ 29
39	2015	11	12～ 13	コンクリートの圧送打設作業中、打設先端部のゴム製のホースを移動させる時、ホースの重量で体のバランスを崩し転倒した際、型枠の支柱となるリップ溝形鋼に右大腿部内側が引っかかり負傷した。	36	2	418	10 ～ 29
40	2015	10	14～ 15	土留め用の木杭をカケヤ（木槌）による打込作業を行っていた時に、その杭の打込が終了と思い込んでしまい誤って木杭の頭部に触れた際、打込作業員が気づいたが止まりきれず、杭頭とカケヤに挟まれ右手中指を切傷、骨折した。	67	7	364	1～ 9
41	2015	9	7～8	土砂の集積作業に使う3.0?のホイールローダーの始業前点検をするためにボンネットを開き左手を内部のラジエーターに接続するホースに左手を掛け、右手でオイルゲージを抜き確認中、足を滑らせた。	35	1	141	30 ～ 49
42	2015	8	9～ 10	治山工事現場にて、伐採した木を整理した際、木材が転がり、腰に当たり負傷した。	47	16	712	1～ 9
43	2015	8	8～9	埋戻しの土砂を積んだ10tダンプが坂途中で停車したところ、敷鉄板と舗装道路が、前日夜の雨の為濡れており、ダンプが滑り出してしまい、河川にダンプ後部が転落した。	66	17	221	10 ～ 29
44	2015	8	9～ 10	放水天端の補修中に安全帯を着用していたが、途中で外してしまい転落。	69	1	418	1～ 9
45	2015	8	10～ 11	クローラクレーン（65t吊）を現場に搬入し、現場入口付近でラフタークレーン（25t吊）を使用して、クローラクレーン（65t吊）の後部にカウンタウエイト（11t）を装着させる作業中にカウンタウエイトを装着、架台に入れようとしたが引っ掛かった為、少し巻き上げ微調整し再装置しようとした際に、ワイヤーが破断してカウンタウエイトが落下し、カウンタウエイトを押	32	4	372	1～ 9

				さえて装置しようとしていた作業員2名にぶつかって被災した。				
46	2015	7	8～9	河川現場内のストックヤードにおいて、コンクリートブロックを2.9t吊移動式クレーン仕様のバックホーと作業員2名で移動中、オペレーターが、手前側作業員のワイヤーが外れたため被災者側も外れたと勘違いし、合図者の合図前にクレーンを上げてしまい、玉掛金具とブロックの間に指を挟んだ。	54	7	523	1～ 9
47	2015	7	9～ 10	工事現場において、法面上部に設置された鉄製の単管柵を撤去しようとしてディスクグラインダーを使用し、切断していた際に、折り曲げられる程度まで単管支柱を切断し、右手で単管支柱をつかみ折り曲げた所、スイッチを切って左手に持っていたディスクグラインダーの刃部が惰性で回転しており、誤ってその刃部が本人の左足膝上に当たり、切傷を負う。	65	8	153	10 ～ 29
48	2015	5	11～ 12	2tダンプトラックのアオリを開け、型枠材を積み込んでいた。荷台に昇り、材料整理のため、後方に移動した際、体がコンクリートバケットに衝突し、アオリ開放部の荷台上から落下した。また、荷台横で、しゃがんだまま作業をしていた別の被災者の背中に、落下したコンクリートバケットが当たった。	29	4	221	10 ～ 29
49	2015	4	10～ 11	落石防止対策工事の施工に先立ち、現場内の支障木の伐採作業を開始しようとしたところ、作業範囲内に被災者が居た為、退避するように指示し、作業範囲内から退避したのを確認した。5分ほどしても姿が見えず読んで返事がなく、直後ガードマンが擁壁の上から道路へ降りる為に、山肌を通過して近道しようとした際、足を滑らせ滑落したと思われる被災者を発見した。	48	1	418	30 ～ 49
50	2015	3	11～ 12	生コン車両が走行出来るように後片付けをしている最中に、突発的に生コンが飛散し、被災した。	36	6	149	1～ 9
51	2015	3	9～ 10	土砂崩落部の雪庇除去作業中に、法肩が崩落し、近くを歩いていた仮排水パイプをワイヤーで固定していた立木も倒れた。その時にワイヤーに足がからみ、倒木により引っぱられたため、	17	5	711	10 ～

				ワイヤーをしめつけ、足首にケガを負った。				29
52	2015	2	14～ 15	被災者がブロック吊りに、ブロック4個をはさみ、クレーン運転手に吊り上げる様に指示を行い、3m程吊り上げた時に1個がはさみから抜け被災者の左足先に落下し負傷した。	54	4	372	1～ 9
53	2015	2	9～ 10	砂防堰堤建設工事で間詰コンクリート打設、バイブレーター掛け、コンクリート均し作業を行っている際、バランスをくずし、コンクリート上に落ちた。	20	1	371	10 ～ 29
54	2015	2	14～ 15	堰堤工事現場で、既設砂防堰堤の左岸下流側において丁張を設置中に切工部の法肩にあった石が前兆もなく突然落下してきて被災者の右肩及び左手に当たった。	43	4	711	30 ～ 49
55	2015	1	15～ 16	法面工事にて鉄筋挿入用の削孔作業中、削孔用ロッドを継ぎ足すため、ロッドレンチにて増締めを行っていたところ、ロッドと共に回転したロッドレンチとガイドシェルの間に指を挟まれ、人差し指を骨折した。	18	7	149	30 ～ 49
56	2014	12	1～2	集水ボーリングのケーシング管を抜管する作業中で抜管後に飛び出した集水管を挿入しようとした際、単管パイプ（50cm）を使用したマシンで押し込む時に手元の作業員（被災者）が単管パイプに手を添えた状態でボーリングを押し込んだ為ケーシング管とマシンの間に右手人差し指を挟んだ。	25	7	149	1～ 9
57	2014	11	14～ 15	民家の裏地において、雨樋の修理・補修作業中、ビテイ足場1組を組立て階段を登っている時に足を踏み外して滑り落ちた。	55	1	413	10 ～ 29
58	2014	11	8～9	砂防工事の現場において、土砂をキャリアカーで運搬中に脳梗塞を発症し（医師の診断による）、操作不能になり河川に転落、負傷した。（当作業員は不整地運搬運転の技能講習は未受講であった）	61	1	149	1～ 9
				倉庫で片付け作業をしていた際に、棚の上の物を取ろうとして				

59	2014	11	9～ 10	梯子を掛けて登っていた時にバランスを崩して落下し、下にあった型枠パネルにあたり腹部を打った。	76	1	371	1～ 9
60	2014	10	14～ 15	川の砂防工事現場で型枠組立作業中に現在位置より1m60cm位下へ降りようとしたとき、下に型枠の材料があったため下に降りずに斜めに飛んだため左足のかかとを負傷した。	70	3	419	10 ～ 29
61	2014	9	9～ 10	工事現場内の盛土面において補強盛土テンサーの施行中に、テンサーの端部を固定するプラスチック杭（長さ30cm）をセトウにて打ち込み固定する作業を行っていたところ、セトウにて打ち込んだ時に、プラスチック杭が破損しその破片が目に入った。	62	4	364	10 ～ 29
62	2014	9	15～ 16	仮設鉄板の上で、杭を製作している時に、杭を押さえていた手を、電動丸鋸が走り、左親指付け根を裂傷した。（全治10日位の傷）	58	8	131	1～ 9
63	2014	9	17～ 18	谷止工（コンクリートえん堤）底部（幅5m長さ9m高さ1m）の生コン打設をしていた時、長靴の中に生コンが入ってしまったため、それを取り除いてから作業を再開したが、生コン成分が作業ズボンにも付着し、それを履いたまま作業を続けたため、アルカリ成分により両足首付近に化学熱傷を負った。	56	12	529	1～ 9
64	2014	8	7～8	仮設道の法面作業準備のため親網を担いで法肩を移動中、立木の枝をつかんだところ枯れていて折れたため身体のバランスを崩し、3.5m法下に転落して受傷。	33	1	711	1～ 9
65	2014	8	13～ 14	工場の片付けにてH鋼をごみ入れに入れようとしたところ、手を滑らせ足の上に落下した。	56	4	521	30 ～ 49
66	2014	8	11～ 12	工場へ10トンダンプ等の侵入に支障があるため切り落とした枝をのこぎりで小さくカットしていたが、指導を無視して小型チェーンソーを勝手に使用し誤って手首を切った。	75	8	136	10 ～ 29

67	2014	7	11～ 12	丁張板にPPロープを取付ける作業中、梯子に上った際、掘削土を盛土した土砂や石が転げ落ちてきて、右腕に接触し骨折した。	74	4	523	10 ～ 29
68	2014	7	17～ 18	砂防工事現場で足場組立作業終了後、帰宅するための車までの道中で足を滑らせ、路肩から転落し救急搬送された。	27	1	417	10 ～ 29
69	2014	7	9～ 10	資材置き場で、バックホウのバケットを交換中に鉄製のスペーサーリングをバケットとアームの間に挟むとき間隔が狭かったため、右手にリングを持ちバックホウのアームを加工させた際、アームとバケットの接続部に右手指先を挟まれた。	27	7	142	1～ 9
70	2014	7	10～ 11	車を運転中、渋滞で停車していた車の最後尾に追突し負傷。左ひざの骨折。	34	17	231	1～ 9
71	2014	6	10～ 11	砂防堰提工工事の支障木伐採箇所において、支障木伐採後に支障木を倒し退避していたところに支障木上部に絡まった山葡萄の蔓が頭部・左肩部を直撃し頭部打撲・左肩部打撲・頸椎捻挫・左助軟骨挫傷をした。	62	4	712	1～ 9
72	2014	4	16～ 17	床固工の施工箇所（右岸側）の山林斜面において、工事に支障となる直径40cmの立木について、チェーンソーを使って伐採作業を行っていたところ、周辺の立木の枝絡みにより倒木しなかった。そこで切口にくさびを打ち込んで倒木を試みたが倒れなかったため、切断作業員がロープ等の補助用具の確認に行き、戻ってから補助作業員が再度クサビを打ち込んだところ、切口が滑落して立木が補助作業員の方向に倒れ回避できずに倒木の下敷きになり胸部及び頭部を負傷した。	65	6	712	10 ～ 29
73	2014	2	15～ 16	前日からの雨の影響で法面の中腹にある仮設道内に入った亀裂補修のため、BH0.2?（クレーン付）で大型土のう（半分程度の土量）を吊って移設しようとした時に、BHのバランスが崩れ谷川に横転し、法面を約30m滑落し、オペレーターが右	58	1	142	10 ～ 29

				足を複雑骨折した。				
74	2014	2	9～ 10	現場で転石の破碎作業中、上方から30cmの石が落下し飛び跳ねて被災者に直撃し、左肩挫傷、左頬を骨折した。	38	6	523	10 ～ 29
75	2014	1	15～ 16	法面にクレーン仕様バックホウにて排水側溝の設置作業を行っていた。排水側溝設置後吊り金を外し安全な場所へ移動する前に運転手に合図を送ったため、運転手が安全確認をしたが死角で被災者に気付かないまま、クレーン仕様バックホウを後退させた際、地面とバケットの間に挟まれ負傷した。	22	7	142	1～ 9
76	2014	1	14～ 15	ブロックを作業箇所に配置中、バックホウのバケットに積んだブロックが落下し、斜面を転がり落ち左足にあたり骨折した。	68	4	523	10 ～ 29
77	2013	12	13～ 14	山林にて、立木伐採作業中、補助作業を行っていた際、直径20cm高さ13.5mの杉を倒したところ、木が倒れる方向の大型土のうに被災者が座っていた為、倒れた杉の木が被災者の頭部に当たった。	56	6	712	30 ～ 49
78	2013	12	8～9	車から降りようとした際、雨で地面がぬれていたこともあり、足を滑らせ負傷した。	56	2	221	10 ～ 29
79	2013	11	14～ 15	防護柵の撤去作業中、高さ3.0m付近にコンプレッサーを設置し、防護柵の基礎の位置に移動中、作業通路を通らず法面を降りた為、木の根に躓き、転倒した。	63	2	711	1～ 9
80	2013	10	16～ 17	コンクリート打設補助作業中、手足に生コンクリートが接触した。	45	12	519	1～ 9
81	2013	9	16～ 17	椅子から降りた際、足が滑り、後方に落下。頭を掘削面に強打した。	51	1	413	30 ～ 49

82	2013	9	14～ 15	側溝の埋め戻し作業中、タンピングランマーで土砂を転圧していた際、平らな石の上でランマーが跳ね上がり、足親指を潰された。	54	6	149	50 ～ 99
83	2013	9	13～ 14	歩行キャリアの駐機ブレーキの操作ミスにより、後進した為、停止させようとしたところ、転倒し、足首を捻り、歩行キャリアに轢かれた。	63	6	227	100 ～ 299
84	2013	8	8～9	仮設道路（幅4.3m）を2トントラッククレーンを運転し、後進していたところ、助手席側後輪が脱輪し、車が転倒。車ごと地面（高さ約5m）へ転落し、衝撃により、肩を負傷した。	45	1	212	10 ～ 29
85	2013	8	9～ 10	残存の型枠ブロックを大きさに切り取るため、荷卸し作業中、誤って足上に製品が落下した。	52	4	212	10 ～ 29
86	2013	8	10～ 11	客室の洗面台にて、うがいグラスを洗浄中、グラスの中に手を入れたところ、グラスが割れ、手人差し指を負傷した。	41	8	911	100 ～ 299
87	2013	8	10～ 11	足場上に足場材を荷卸ししている際、足を滑らせ、丸太残存型枠とフレ止め鉄筋の間に足首を挟み、後方に倒れ、足首を骨折した。	62	1	411	10 ～ 29
88	2013	7	11～ 12	足場の上にて、落石防護柵のワイヤーを人力にて引込み作業中、被災者がワイヤーのねじれを直そうとしたところ、手の中指、薬指、小指を捻り、ワイヤーに巻き込まれた。	50	7	379	1～ 9
89	2013	6	16～ 17	工事中の水路の道具類を片付けるため、昇降階段（5段、高さ1.2m）を降りようとした際、足元の確認不足及び靴に泥が付着していたことにより、滑り、後方の階段パネルに手をつき、手の平を負傷した。	36	1	413	1～ 9
90	2013	6	16～ 17	記載無し	46	2	417	1～ 9

91	2013	5	11～ 12	コンクリート打設中、定置式コンクリートポンプでコンクリートを水で圧送中していた際、ポンプの先端10m付近でコンクリートが詰まったため、ハンマーで叩いて除去したところ、水圧がかかった水が一気に噴出し、反動で配管が50～80cm移動し、配管に跨って作業をしていたため、バランスを崩し足場から転落。掘削法面（岩盤）で腰を強打した。	31	1	411	10 ～ 29
92	2013	5	14～ 15	棟工事現場にて、地盤に木杭を建て込むための前準備として、鋼鉄製ノミを鋼鉄製大ハンマーで叩いて打ち込んでいたところ、鋼鉄製ノミ上部の一部が剥がれて飛び、被災者のヒザに刺さった。	35	4	364	1～ 9
93	2013	4	15～ 16	プレハブハウス設置作業中、1階プレハブハウスの屋根上で2階部分の取付工事中、雨で屋根がぬれている場所から、足場の確認不備により、地面に転落。手首、肋骨を骨折した。	54	1	419	10 ～ 29
94	2013	3	11～ 12	工事現場にて、型枠の上に置いていた木の上に足を乗せ、生コンの配管を撤去する作業を行っていた。足を置いていた木が突然折れ、高さ1.8～2m下へ転落した。型枠で胸を強打し、型枠を固定しているセパ（鉄筋）を跨ぐように落ちたため、尿道を損傷した。	57	3	522	1～ 9
95	2013	3	8～9	土台の上に2m位のアルミはしごをかけて作業中、はしごが縦に滑り、はしご間に足の先が当たり、足先を負傷した。	39	1	371	10 ～ 29
96	2013	3	10～ 11	コンクリート打設をクレーン油圧ショベルとコンクリートホッパーで作業しようとしてホッパーを近付けた際、バケット固定装置の固定が外れ、バケットが落下。待機していた被災者に接触した。	51	4	142	10 ～ 29
97	2013	3	14～ 15	コンクリート製残存型枠の組立をクレーンを用いて行っている際、設置済みの隣の型枠に引っ掛かった為、外していたところ、型枠が滑り、設置済み型枠との間に手中指を挟んだ。	74	6	211	10 ～ 29

98	2013	3	11～ 12	伐採木搬出作業中、油圧ショベルで木材をつかみ、旋回しようとしたところ、木材の片方が根株から外れた拍子に木材が跳ね、被災者の胸に当たった。	44	4	229	30 ～ 49
99	2013	2	11～ 12	砂防工事現場の下部にて、次の作業で使用する鉄筋の準備を行っていた際、両手に抱え、上部に運ぼうと昇降階段を使わず、脚立から上がろうとしたところ、2段か3段目で足を滑らせ、転倒した。	58	1	371	30 ～ 49
100	2013	2	14～ 15	急傾斜地工事現場にて、岩盤の法面にアンカ筋を挿入するため岩盤作孔作業中、使用していた電動ドリルの穂先が定まらず、取手から穂先を持ち、手袋をしていた手が巻き込まれた。	63	7	169	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。